

## ◆八千代地区 第2回地区会議の報告～計画づくりの経過～

12月8日(月)18時30分～20時40分、八千代地区公民館にて「八千代地区 第2回地区会議(地区別計画策定)」が開催されました。会議には、策定委員11名と役場職員9名(※事務局・オブザーバーを除く)が参加しました。

---

### ■ 会議前半:前回の振り返りと10年後の地域像の共有

11月10日に行われた第1回会議の振り返りと、町全体の将来人口推計や八千代地区ごと年齢構成比率をもとに、今後の人口減少や高齢化率の上昇について確認を行いながら10年後の地域像について共有しました。

---

### ■ 10年後の暮らしを想像するワーク

2035年12月8日の自分たちの暮らしを想像し、次のような視点で「こうなっていたらいい地域の姿」について発表し合いました。

- どこで、誰と、どのように過ごしているか
  - どんな移動手段を使っているか
  - どのように働き、どのように遊んでいるか
- など、思い描く未来像を一人ずつ共有しました。
- 

### ■ 2つのテーマに分かれての対話

第1回会議で整理された「地区に影響を与えるような課題や社会の変化」に基づき、2つのテーマごとにグループに分かれて意見交換を行いました。終了後、各グループから出た意見(キーワード)を発表し、全員で投票を行いました。キーワード、投票結果は別紙のとおりです。

(赤●:とても重要、青●:重要 各人赤3票、青3票を投票)

#### ①2035年の子育てに必要となる地域のあり方とは?

- 移住・担い手・場所(●:1票青●:7票)
- 子どもが帰る場・子どもが好きな八千代でありたい(●:7票青●:8票)
- あつたらしいな子どもの遊び場・収穫体験(●:8票青●:2票)

- ・ 活動場所(●:3票青:●0票)
- ・ 道路交通(●:13票青:●0票)
- ・ 外灯(●:9票青:●3票)

八千代地区には地域に愛着を持って育っている子どもたちがいて、このあたたかい雰囲気をこれからも大切にしていきたい。子どもたちがのびのび遊べる場所をつくったり、収穫体験など自然とふれあえる活動の場を用意したりして、地域とのつながりを深めていきたい。あわせて、街路灯の整備や使いやすい公共交通、安全な歩道や自転車道の整備など、交通の安全もしっかり確保して、誰もが安心して暮らせる地域を目指したい。

## ②2035年の八千代地区の働き方はどうなっているか？理想の働き方は？

- ・ いかに「八千代」に人を留まらせるかが重要
- ・ ネット環境が整えばサテライトオフィスも可能では？(●:0票青:●11票)
- ・ デジタル化道路監視システム等あれば不具合があったとき事前に対策対応してくれたらいいな～・街路樹トラブル多し(●:9票青:●3票)
- ・ デジタル化→無人化・果たして「八千代」でそこを望むか？・道路整備も並行して必要(●:0票青:●0票)
- ・ 砂利道のせいで配水環境悪い→アスファルト整備にしてもらえたらよくなるのに…(●:1票青:●9票)
- ・ 次世代につながる農業・農業に限らず「八千代」に戻ってくる環境が整つたらいい(●:6票青:●14票)

農業分野ではデジタル化の進展により、農作物の管理や不審物・不審者のモニタリングが可能となり、作業の自動化も進むと考えられます。これに伴い、農業機械の導入や効率的な物流を支えるため、道路などのインフラ再整備が必要になるでしょう。また、農業に限らず、子どもたちが将来地域に戻ってこられるような魅力的な環境づくりも重要です。さらに、ネット環境が整えば、農業だけでなくサテライトオフィスの設置など多様な働き方が可能となり、地域の活性化にもつながると期待されます。

## ■ 今後の予定

次回の会議は 1月 27 日(火)18 時 30 分から、同会場にて開催予定です。  
これまでの対話内容を踏まえ、具体的な目標の設定に向けた議論を行う予定です。

